

第4回小松空港ターミナルビル基本構想検討会議 議事概要

日時：令和8年3月3日（火） 13：30～15：00

場所：石川県庁行政庁舎1109会議室

事務局からの資料説明後、以下の意見交換がなされた。

○ターミナルビルの機能強化について

- ターミナルビルの機能強化は、周辺地域とリンクした形で相乗効果が発揮されるよう進めていくべき。
- 賑わい創出に向けて行政庁舎の併設を検討していく上では、駐車場をどうするのかという視点が必要。
- ターミナルビルの改築までには時間を要することから、その間、現行ビルを使い続けることになるが、現行ビルの課題をどうするか調整が必要。
- 地域の賑わいの拠点化、行政庁舎の併設、保安検査の実施主体の変更など、ターミナルビルに求められる機能は今後ますます大きくなっていくと考えられるため、来年度以降はそうした議論と整合性をとった形で機能強化の検討を進めていくべき。
- 具体の施設整備を進めるにあたっては、C I Q業務における検査・審査体制の強化を見据えて内容を検討していくことが重要。

○空港運営等への民間活力・知見の導入について

- 小松空港において空港運営等に民間活力を導入する場合、共用空港では初めての取り組みとなる。今後、小松空港に適合するスキームをしっかりと検討していくことが必要。
- 空港運営等に民間活力を導入する場合、関係機関の役割分担の精査や、民間事業者にスムーズにノウハウを継承できる体制づくりが必要。
- 空港運営等への民間活力の導入については、他空港においても検討に時間を要しているが、社会情勢の変化にも柔軟に対応できるスキームがつくられるように、拙速に進めることなく、民間事業者も含めた関係者間で十分に議論を重ねることが重要である。

以 上